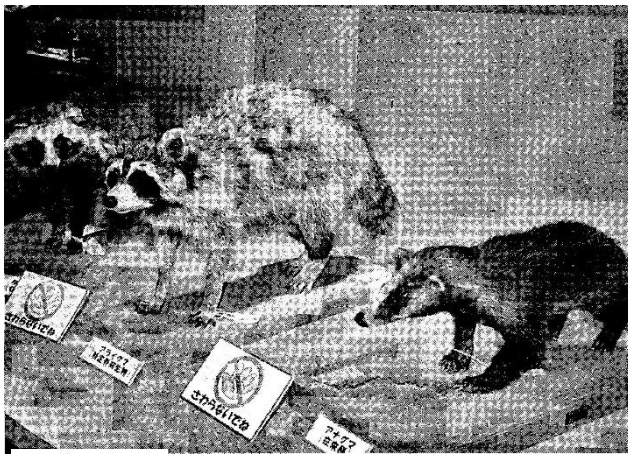


アライグマが目撃情報続々 タヌキ・アナグマと酷似 多い見間違い

始良市重富地域で1月、外来生物法で輸入や飼育が禁じられている特定外来生物のアライグマ1匹が捕獲された問題で、目撃情報が相次いでいる。ただし、アライグマと特定できたものではなく、アナグマやタヌキとの見間違いも少なくない。専門家は「足跡など痕跡の特徴を周知した上で、早期に対策をとることが重要」と訴える。

鹿県「尾や足跡に特徴」



鹿県立博物館に展示されている剥製。左からタヌキ、アライグマ、アナグマ

県自然保護課によると、5月19日の公表から6月10日までに県に寄せられた写真や目撃情報は計36件。地域にばらつきがあり、見間違いも多いことから、アライグマと特定できた情報はないという。

鹿児島市の碓谷淳一さん(61)は5月上旬、甲突川周辺でアナグマを発見し、手持ちのカメラで撮影した。数日後、写真を知人に見せたところ、大半はアライグマと勘違いした。碓谷さんは「アナグマを知らない人も多い。一般の人には区別がつきにくいのではないかと話す。

県の担当者や専門家によると、アライグマは一見、大きさなどがアナグマやタヌキと似ているが、最大の特徴は尾のしま模様。だが、いずれの動物も夜行性のため、正確な目撃情報や写真は集まりにくいのが実情だ。

北海道ではアライグマが定着し、農業被害が出ている。外来生物の生態や対策を研究している北海道大学の池田透教授(保全生態学)によると、農業被害など具体的弊害が表面化しない限り、行政は対応に着手しないのが全国的な傾向という。見間違いの情報も少ないからだ。

池田教授は、アライグマが確認されてから人目につくまでの“潜伏期間”を約10年と分析。池田教授は「アライグマの繁殖能力はすさまじく、被害が出たときには既に手遅れ。初期段階の対策が重要」と強調する。

直接姿が見えなくても、痕跡でアライグマかどうかを区別する方法はある。その一つが足跡だ。アライグマには指が5本あり、細長く、はっきり分かれている。歩く際はかかとまで地面につけるため、足跡は子どもの手形のように見える。

細長い指のおかげで手先は器用。ミカンや皮を

アライグマの見わけ方

	アライグマ	アナグマ	タヌキ
全身			
顔			
足跡			
体長	約60～100㎝	約60～90㎝	約60～80㎝
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 尾に黒いしま模様(5～7本)がある 指は5本で、細長い 爪は短く、湾曲しない 	<ul style="list-style-type: none"> 尾が短い 四肢は短く、褐色か黒色 耳は小さく先端が丸い 鼻が大きい 指は5本、湾曲した長い爪がある 	<ul style="list-style-type: none"> 前肢から肩にかけて黒い帯がある 四肢は黒色 指は4本、イヌに似ている

むき、スイカは穴を開けて中身だけくりぬいて食べるため、その痕跡でも見分けることができるという。

県立博物館（鹿児島市）は周知を図ろうと、アライグマへアナグマ、タヌキのそれぞれの剥製を並べて展示している。県は他の動物との違いや特徴をホームページで紹介。狩猟者に対しては、猟友会総会や狩猟登録時に情報提供を呼び掛けていく。

（常深さゆり）

<https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/araiguma.html>

[https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-](https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/documents/25323_20120530165358-1.pdf)

[kankyo/kankyo/yasei/gairai/documents/25323_20120530165358-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/documents/25323_20120530165358-1.pdf)

アライグマってどんな動物？



顔つきはタヌキ、アナグマに似る

耳が大きく、白い縁取り

鼻から眉間に黒い筋

体色は灰色に近く、タヌキに比べて白っぽい印象

しっぽが長くシマシマ

鼻から眉間に黒い筋がある

耳が大きく、白い縁取り



※見た目はカワイイですが凶暴な性格です

【写真・資料提供：環境省／(株)地域環境計画】

① 顔の特徴



② 尾の特徴 (しましま模様に刮目する！)



③ 全体像(シルエット)



④ 足跡の特徴

[写真・資料提供:環境省/(株)地域環境計画]



- ・ 4指である
- ・ 肉球が確認できる



- ・ 5指である
- ・ ハッキリとした形
- ・ 人の手（子供）に似ている



- ・ 5指である
- ・ 肉球が確認できる
- ・ 爪跡が残る

アライグマが及ぼす被害の一例

農業被害の特徴(痕跡) (写真のような被害はアライグマの疑いアリ)



- ・ 皮をむいて食べる
- ・ 枝ごともぎ取って食べることもある



- ・ スイカの中身をくり抜いて食べる
(写真提供: 鈴木和男氏)



アライグマのしわざ

平成27年6月11日(木) / 南日本新聞